

第2学年芸術科学習指導案（器楽）

日 時 令和元年10月31日（木）

場 所 埼玉県立朝霞高等学校

科 目 音楽Ⅱ

学 級 2年4, 7組（男子10名 女子11名）

指導者 小嶋 悠子

1 題材名 「沖縄の文化に触れよう」

2 題材設定の理由

本題材では学習指導要領との関連 A 表現（1）器楽 ア、イ、ウに即して進めていく。
本校の2年次生は2学期に沖縄へ修学旅行に行く。現地でより充実した体験ができるよう、音楽の授業では歌唱指導や器楽指導共に沖縄の曲を中心に扱う。その中でも沖縄の伝統楽器である三線に触れることで、沖縄の伝統や文化や知識を深めるとともに、民泊先でお世話になるご家族との交流にもつながる考え設定した。

3 生徒の実態

全体として明るく活発なクラスであり、音楽に対しての興味も高く、非常に積極的に参加している。初めて取り組む曲や楽器に対しても好奇心をもち、前向きに集中して取り組むことができる。わからない点などは教え合うなど互いに学び合う姿も見られる。器楽に関してはこれまでの音楽経験などの違いから個々の差がより大きいため、レベルに合わせた教材を複数用意し対応している。

4 題材の目標

- ・三線について興味・関心を持ち、新しい楽器の奏法を身につけられるよう積極的に練習に取り組もうとする。また、よりよい演奏ができるようペアで確認し合うなど互いに協力する
(関心・意欲・態度)
- ・よりスムーズに演奏できるよう、練習方法を工夫する。また、沖縄独特の音階やリズムを感受して音楽表現を工夫する
(創意工夫)
- ・正しい奏法を身につけると共に、三線の楽譜「工工四」を読めるようにする
(音楽表現の技能)

5 題材の評価規準

	ア 関心・意欲・態度	イ 創意工夫	ウ 音楽表現の技能
評価規準	①三線の音色、楽器の特徴や歴史に興味を持っているか ②積極的に練習に参加し、上達しようとして努力しているか ③ペアで確認をし、教え合うなど互いに協力しているか	三線の奏法を理解し、より良い音色やリズムを創るための音楽表現を工夫しているか	①表現するための正しい奏法を身につけ、創造的に演奏しているか ②様々な楽曲を演奏していく上で必要な『工工四』を読めるよう努力しているか

6 教材

①沖縄三線 初歩の初歩入門 より抜粋プリント

②『海の声』 篠原 誠 作詞 島袋 優 作曲

7 学習計画

時	主な学習活動	学習活動における評価規準
1	三線の歴史、楽器の特徴、扱い方、各部の名称、構え方を学ぶ	三線に興味をもち、積極的に覚えようとしていたか アー①【観察】
2	左手の押さえ方や右手の動かし方を学びながら、工工四のポジション名を覚える	・三線の楽譜に興味をもち、覚えようと努力をしていたか アー① ウー②【観察】 ・左手の押さえ方や右手の奏法を理解し、積極的に練習に取り組んでいたか イ【観察】
3	・左手の練習と工工四を覚える ・『海の声』A前半の練習に取り組む	・工工四を覚えようと努力していたか ウー②【ペア活動観察】 ・『海の声』の楽譜の読み方を覚え、積極的に練習に取り組んだか アー②【観察】
4	・『海の声』Aの練習に取り組む ・弾き語りの練習に取り組む	・よりスムーズに演奏できるよう積極的に練習に取り組んでいるか アー②【観察】 ・正しいポジションを押さえられているか、ペアで互いに確認し合っているか アー③【ペア活動観察】
5、 6	・『海の声』B、C 前奏、後奏の練習に取り組む ・『海の声』を仕上げたものは、次の課題曲に取り組む	・演奏のポイントを理解し、上達できるよう努力しているか イ ウー①【観察】 ・ペアで教え合うなど協力しているか アー③【プリント】 ・自分のレベルに合わせた努力ができているか アー②【観察】
7 本時	・完成に向けよりスムーズに演奏ができるよう練習を重ねる ・弾き語りとしての完成度も上がるよう歌いながら練習に取り組む	・演奏のポイントを理解し、上達できるよう努力しているか イ ウー①【観察】 ・ペアで教え合うなど協力しているか アー③【プリント】
8	試験を行う	・工工四を覚えたか ・今まで学んだ奏法などに気を付け、三線の弾き語りができているか 【試験】

8 本時の指導（7/8）

（1）本時の目標

- ・演奏のポイントを理解し、スムーズに弾き語りができるよう練習を重ねる
- ・ペアで確認し合うことで、良い点、改善点をお互いに指摘し合う

（2）本時の評価規準と生徒の学習状況

生徒の学習状況 評価規準	B おおむね満足できる	A 十分に満足できる
【アー③】完成に向けより良い演奏ができるようペアで確認しアドバイスをしあう	相手の演奏を良く鑑賞し、アドバイスをしようとしている	相手の演奏を良く鑑賞し、ポイントに沿って的確なアドバイスをしている
【ウー①】演奏のポイントを理解し正しい奏法で演奏できるよう取り組む	演奏のポイントを確認しながら丁寧に練習に取り組んでいる	演奏のポイントを理解し、より良い音楽表現ができるよう取り組んでいる
【努力を要する生徒（C）への支援】 机間巡視で個別に対応することで、理解を促す		

（3）展開

	主な学習活動	○指導上の留意点 ☆評価規準
導入 (15分)	工工四でのポジションを復習する 全体で『海の声』の復習をする	○ペアでポジション確認をさせる ○机間巡視で書いた工工四を見てポジションを押さえられるか確認させる ☆ウー② ○1度通し、できていない部分を把握し、全体指導を行う ☆ウー①
展開 (20分)	苦手なところを中心に個人練習をする 『海の声』合格者は次の課題曲の練習に取り組む	○演奏のポイントを確認しながら練習させる ☆イ ○弾き語りの練習をするよう促す ☆ウー① ○演奏ができるようになっているものには積極的に新しい曲に挑戦するよう促す ☆アー② ○机間巡視を行い、個別指導を行う
まとめ (15分)	ペアで聴き合いながら試験範囲を通す 全員で全体を通す	○演奏ポイントができていないか評価し合い、互いにアドバイスをさせる ☆アー③